

第21回生協ふれあいの森植樹祭「仙人平」開催報告

1. 日 時 2022年6月19日(日)：10:20～12:00
2. 場 所 十和田市仙人平（葛温泉近く）
3. 参 加 名
 コープあおもり（23名）青森保健生協（4名）県民生協（1名）森林管理署（6名）
 弘前大学生協(34名) 県生協連（4名） ※うち組合員（51名）
4. 当日プログラム

10:00～	集合
10:20～10:30 開会式	あいさつ 県生協連 菅原 正 専務 三八上北森林管理署 葛西 貴仁 署長 参加者紹介、チーム確認、記念撮影、移動
10:30～11:20	植樹方法の確認、植樹（ブナ120本）
11:20～12:00	移動、森林散策（フィールドビンゴ）、解散



あいさつをする葛西署長（左）と菅原専務（右）

・6月19日（日）、仙人平において第21回「生協ふれあいの森」植樹祭を開催しました。生協組合員や森林管理署の皆さん、スタッフを合わせて72名が参加し、ブナの苗木120本を植えました。新型コロナウイルス感染予防のため、参加人数を制限し、午前中のみの企画としました。県生協連では2001年から三八上北森林管理署と「ふれあいの森協定」を締結し、牛乳パックのリサイクルの収益金をもとにした植樹活動を仙人平で実施してきました。22年間で延べ2,215名が参加し、植えることができたブナの苗木は4,150本となりました。

・参加者は時折小雨が降る中、植樹を行いました。固く笹の根が多い土に苦戦しながらも、弘前大学の学生の奮闘もあり、予定よりも早く120本のブナの苗木を植樹することができました。

・今回は小さなお子さん連れのご家族が3組参加され、楽しみながら植樹と森林管理署の職員さんによる森林探索、フィールドビンゴを体験しました。植物の観察だけでなく、森林管理署の職員の皆様が彩色した八幡馬探しも行い盛り上がりしました。



家族で植樹、ユキザサと八幡馬を大きくするかな？ 見つけて得意げ♪



弘大生も植樹、頑張りました

～組合員さんの感想～

- ・自然に触れ合うことが改めて楽しいと感じました。
- ・植樹や自然散策を通して、自然とよりつながる事が出来ました。特に自然散策では気持ちいい風の中、歩くことができて良かったです。
- ・植樹の大変さを知ることが出来ました。山を守るためには適度な管理が必要だとは聞いていましたが、実際に参加して体感することができて良かったです。
- ・葉の音、風がすごく心地良かったです。